



坂下東小学校だより

# 坂下ひがし

坂下東小学校

令和5年9月11日

No. 10

## 防災の力

今年は、関東大震災から100年ということで、新聞、テレビなどで防災関連の情報が数多く取り上げられていました。



本校でも9月1日に避難訓練として学習の機会を作りました。今までは校舎がハザードマップ上にあるので、垂直避難や授業を打ち切った集団下校を行ってきました。しかし、訓練だけでは防災力は高まりません。河川の反乱を想定しての学習場面が必要と考え、防災担当が映像を使った学習を企画しました。今までとは違った視点で学習する機会となり、1・2年制には1・2年生なりの、そして5・6年生には5・6年生なりの学習ができました。全校一斉に行うことも時には必要ですが、発達段階が違い、理解力、行動力に大きな差があるので、学年に応じた学校行事も必要です。

防災教育は、単なる知識ではいけません。行動に移せる能力として身につけさせたいものです。ぜひ、命を守るためにご家庭内でも話す機会を設けてください。

## 授業力向上のために

本町では「1つの学園構想」のもとに授業力向上のための研修会を実施しています。9月7日（木）には新潟市マイスターの伊藤隆之先生に6年生の授業をしていただきました。国語科の授業だったのですが、国語科だけに限らず他教科でも活用できるものがたくさんありました。子どもたちも大活躍で、講師の先生にはたくさん褒めていただきました。

この授業が各校での実践に反映されて、町内の幼児、児童、生徒の生きる力が高まっていくことを願っています。



# 読書が子どもの未来を左右する

読書には以下のような良い点があり、学校でも「朝の読書」に積極的に取り組んでいます。

- 学力が上がる
- 語彙力が上がる
- 読解力が付く
- 想像力が豊かになる

子どもが読書をするかしないかで学力や読解力で差が生じるとの結果も出ています。

子どもたちは周囲の大人や友達との関わりを通じて、共感する気持ちを育みます。読書には本に登場するさまざまな性別、性格、年齢の人々との交流がたくさんあります。物語を擬似体験することで、子どもの中の世界は広がり、想像力を豊かにすることができます。読書に触れただけ多くの体験を得て、語彙力や想像力が豊かになることが分かります。

2学期からは、「週末読書」を呼びかけています。図書室から借りた本を自宅に持ち帰ります。家庭で読んで週明けに学校にもってくるようにしました。

読書好きの子どもを育てるためには、

- ① 親が読書している姿を見せる      ② 親も子どもと一緒に読書する
  - ③ 図書館へ連れて行く      ④ 子どもの好きな本は何回も読んであげる
  - ⑤ 図鑑などの簡単なものから始める      ⑥ まずは5分間からはじめてみる
- という方法があるそうです。

## 町陸上記録会に向けて



9月21日（木）に町小学生陸上記録会を予定しています。5・6年生の全員が1人1種目（リレーを除く）に参加します。一生懸命に練習に取り組んでいるところです。

天候を見ながら、朝に練習を前倒ししたり、放課後に練習を入れたりしています。本校が会場になっているので、全校生で除草作業をすることもあります。